第二次會批指定を行った。今回指

欧田側のそれらの準備條件が大艦はこれに歩勝を含せて、社の機器は蜷山、瓦斯、電氣の所割動力部

政府は廿五日軍需會社法による

七日より今日窓の一ヶ月餘の間に

從つて第一次指定のあった一月十

もいへることである。

定された軍需要此は四百十四社の整つたのではないかと思ばれる。

門の殆どれてを網羅したというて
わけである。成力増配就中航空機

開社四五十社を加へれば度に五百

西世以及父。我國軍無工樂部

くにして期待される時期に入つた

織の欧革を要する部面もなほ際に別江たのは高外であつたが、そ されてあるでありろし、又生産資(などかに今回の第二大道をに加へ

つきできない。これが第一次指定 工芸の原動力であることに説明す

然している原理の上において、

米、英石油支 配の分割提案ンは四日

原別を行さないと説明とるる

庭を附るめとは勿論、軍務を出し

を達して

であが、

第一次指定

この意味ではこの側期的な軍需工

立してあると信するが、新たに軍

質社も今回の第二次指定質社も厳と差しせまつてある。軍務会

の意象がある自らそとに残って、はからの。 即様においては過報の

られたのは簡単の無といいわ

なが続しいことである。ある場合

就では予通信は廿四日米國側の提

決勝名子を限なし

といふことは質べくくて、なか それらの間に電點的取扱のをされ

| **阿服| ワシントン** 灰電|| 巨下ワシ インで開催中の米英石油密語に

であり、旦づ知って公正である場

の最大を狙ったものにほかならな 厥厥による劉古、特定國石油和淮

であるが、第一次指定質性が比較、れ、金融の質性が一般域化が増設しては差別のあるべきはずがないのでも問題に批行して動態を厳立さ

響能率が高端して、るの間解却

入郷と暮ちく、参加造族三、栗に城山、藤國の忠康に寄せる。持つ

新言記の祭神一裏五柱をはじめ離院の英魂に御親採あらせられた

大島昭下には常岡神世臨時大祭第二日の世五日同神社に行奉あらせられ親しく戦逆の渡の頃に懸屈の臨と歌う

この日に下の御親津を迎へ、関係は招親の艦艇に列し合日家、を給ふ子御心のほどに関びつく

企業をは尺の間に仰き奉る光・歌遊測戦略に駆動の時の至るを 遅相、率本大祭巻島東および年、佐長崎郷、松生宮相、東沼特社

京陸海原、各官衛、魔校、在京東

武昌大学中華の略式自動車を

東係、順田陸海兩相層が申上げ

一成所に進ませ給ひ、御手水、御

修設の個後、鈴木宮司御と郷申

【印度前線長谷川報道班員廿四日發】加以物質

インバール 北側の崩る

革のや影響はインバール北側戦線の均衡を破って

つて十八日夜途に

心少させようとする際心が特に無 ルを保備として自己の人的指密を 工官の養成などに躍起となり、こ 方、重慶軍の米式化、重慶航空 程印米軍兵力の増殖に狂興する 送り込んだと噂へられるなど看

同地東方突角高地の一角を占領、引續き主座地に據る敵と激

一平丁九キロの地覧(サイボム西南

精増加し、 在交米空軍、 軍隊空 すなはち在交空軍兵力は最近國

高小房子

雅され一九に ツチェル中

べルカン地域に対する空間でも延

短如く結核必治の根本は

のみで反脳軸容量は合計四十七段

されてなり、ドイツおよび

方とは古サンチ加藤地、土一サ ンチ機能和など世門に及ぶ有力火ー

行ふのみでなく、印度でもアラ つたが、これが支那側要真は本 軍を合して〇百般を算するに至

19-J)

東南印度への進撃路開く

絕對的主動權確保

学には提るも民役長の窓る御 聖事を日武侍を長と傳道 一分で本殿に進ませられ、

皮臓に御親舞あらせられた。 事を御手にとらせられて護國

一層に民一億はその職域で 歴に午後一時十五分、この時

場所で獣魔、芳烈子古に概る

法意を開撃というたのである

君が代」安集理と靖國神社秘 かくて際下には同一時十分

學に第一

テグノパール突破猛攻

| 曹潔潔潔賞廿三百号7 廿 | の同変や剛生の変を関係する九階 | ミザワをも 放棄 ソイガロには 巻(オラダン前線大沼・甕 | 1髪にアキャブを歌かんとした版 | し、四月に入ってからガラダン、

ミザワをも放棄して廿日には一発

に本環パレトワを関減せられるに

が部隊と一層素弦の策励し得るこ

パレトツ攻略の意義大

劉御、

本大祭委員長の何先妻

午在零時前分原能鹽相、嶋田 各種黝潭、徽章を御城用、百武寺

御玉串を御手に

畏し忠霊に御拜

さどりの文章語言との概念では、大・創機器と小説が明しての際はせられる正規宗語がよりの代表者、概認を課題時はへと向はせられる。

田中總監昨夕歸任

らぬと考へてゐる次第である

これを實行に移して行かねばな一

太平洋作戦の

長期化不可避

日本撃破は困難

殿下、黄陽宮、久遺宮、郷本宮 紫水湖 。同若當,至主**根、李**

桐藩院遊ばされた命を御待ち申郷公名殿下には本殿前の御居に

に打ち縫へるのであつた ず大地にひれ伏して無限の感動 御仁然の御殿手の御豊穣に思は 車に押し奉る至政の龍渕、深き

> 多り廿五日午後六時廿分京城町 制度は六日間にわたる※説日産

間の初度巡視中であつた田中欧 九日景城出家子安爾道、霰海道

(デューリヒ廿四日同盟) ニュー

廿日以來わが巨砲隊またこれに對一官發奏した 砲隊征襲の下、必死の抵抗を構設

域を誘察して最近来域に監視した

でこの戦争を戦ひ扱くべく決論してある、日本を戦破するためとは日本陸軍を陸上戦で撃ら破りを

重慶軍を矢面に

- ク來管U・P特派員は東距戦

太平洋戦域にある作戦指導者を一

嬰くも 天皇陛下に広盟軍御

繁殖に九陵の神域へ進み

やがて聖滅は、暑が代の多

セングマイ東方

高れ自由 昨廿四日午後十時五十五分元山

境所看列車で來仁、瞬頭に他田府 たのち現状を具さに査察し午後二

他関係官民多数の出述へを受け直一話」決能年島の大陸輸送狀況変象 一時甘分幾列章で京城へ向った 第三班元山着 完山電

内古れ直ちに〇〇工場前に輸送額 方交通局長、西尾元山府共等に製出工への柳生蔵南知等、温蔵製地

建設工事を進めてゐる陸揚げ埠頭

の逞しい意吹に帰れ北鮮における一 て力暖く立ち上らんとする港元山

だ、東京への道程は与く而もととする部隊を増援せどの気がなる。元が年間は潜くだらうとの意見とする部隊を増援させる気がなる。

來館によれば東南アジャ反隔軸軍 の丘阪陣地で日英両筆間と激歌

優行してゐる

ウエル雲南軍も掌握 ヘバツトに支那航空士官學校を 猛訓練も水泡

【リスボン廿四日同盟】ワシント 對日落下傘作戰

見廿四日競】人的指罪を極度に恐

家米國は最近0個師職を印度

ビルマ前線OO基地橋本報道班

下継部院の組

ルは重慶に選企車のフーコン地・司令官ウインゲートは最近ビルマ ン來電ー反福軸東南アジャ軍空艇

慶飛行士を立てようとし、また設立、日本空軍の矢面に極力事

しいる大掛なも

ングレーに遺跡路を開けてなりパ 英、外國旅行を制限

が知道に置きるれた

米機九十機を撃墜

職職各國防空隊の依然とる職力さ

教威するほか前記一道路を通じて 政治的機は直接マユ山脈を配てた 心上流に打込まれた今次日印軍の レトワを変取して大きくカラダン アカン方面の敵ニケ師の背後を ンドン來電!英國内務省は廿四日 ら外國への旅行を禁止する、 と 四月廿七日夜 により英本國が

でイツ軍被領機様は十四日ドイ でイツ軍被領機様は十四日ドイ ドイツ軍の通り無明した

の南部及び西南部上空で米機力

よりラングレーに向び進展中のわ 確保を意味し、かつトン丘陵地帯 で南部印度へのわが作戦の自由の

セバストポリ 一般を展集した

一、圏海道快速艇隊は廿三日夜英作戦に帰し廿四日次の通り發表 野り 2世日 で軽 (ペル) 一、セパストポリ地區では赤軍は、一窓は当四日次の如く破裘した 【ベルリン廿四日同盟】 總統大本 攻防戰熾烈

大量を凝出して攻撃を加へ來つ無敗の戦車、鍵跳機の施憩下に 報車五十七台を繋破、四星隙間をが、畑里に勇敢に開戦、赤軍 一重の潜 に御用心 伏性脚氣 結核と紙

治学東府部實 所究研菌トス

に各 禁店

手段に他ならない。

難面林ドラミ

足が倦い

所鲜 人に菌力

熱が暗髪のイーストを用ひると活きた酸力を失調の現象であつて熱痰にかかり易いを に多く定まつたやうに足が傷い。これは鎌 潜伏性関類は腎腸が弱くが屁のよく出る>

、に東南を命中せしめ海灘ル戦のペット語一要を選沈、西山一要

四回回題】反極脚空ートル市に第中機略を加へた **父産**のために 人間市大定路大仁東一和田卯助時間 土地「安産のために」助子作品 カルシーム錠 イツ塩濃壁機除は廿三日夜プリスイツ塩濃壁機除は廿三日夜プリスト 軍突撃隊は反帰軍軍邸的に突入一・アドリヤ海岸地區ではドイツ 獨機ブリストル猛爆 軸線兵力に資害を関へた 数ケ所の特欠點を緊破して反復 がませう……… から多量の英奏 から多量の英奏

第1一次軍需 曾祉指定

第二次記憶にようて野に観察さん。 は天戸戦戦曹監法は施亡されない。朝鮮にこの策戦曹祉の決敗戦撃がどの。 空道道を関って日まない。朝鮮に

との場所によるもと解されてきたな、としてあるのである。指定されなかった今日 ある。同様のこと氏語館の場合に知知すべき私が舞されてきったな、としてあるのである。指定されな、空生語質圧制にするに複雑されて つたのと、軍需會批法のそのもの

い歌館をあらし、大の如く兩道初

途に祝いた田中政務網語に軍中に 五百午後四時廿分十成縁幾騎任の 本のク酸々の方面における酸量 死網

転会を

にれて

はならぬ

平安、黄海兩道初度巡視を終ヘサー

がする、とくに下車縮山では日かりでするというである。何としても頭の下がる思い

増産の熱意に感激

るので、その貼ば却つて興味深一

社にて『謹寫語電送

隊 部 進 西

日ベレル前面テクノバー
く足力を分割した端の虚を衝いて本製造速量が四日後1
対 協力、テクノベール関北の歌に歴 「ビルマ前線〇〇落泊碼 | 随地大精湯を履行、印度園民軍と

個窓翼きのふ嬉戯神 同成へ演奏あらせられた

つきに民の方も漕しく面目を

院所側としてもほ一般の指

ればならぬ點については遅かに

なる機用部隊の協力を得て附近の

これに対し数はパレル、タへ道「て四回撃をおび側背に関下もじめ」て新たなる相続を現はすと至った。カラダン方面の範囲下提出は

プチドンおよびカラダン河谷から一ざる作戦路にあり、他方ダレトメ

成した東部印度進攻作戦と呼源し

ルを目標に比大なる包閣機器を完成 細國地方面の戦局は現にインバー やが総勢主等下に置かれた南部印

腰一隻を大破り

域で赤道湯騰機成はノルウエー地域で赤道湯騰機穴機を騰騰した

腰密艇 域はセパストポリ西方水 際送し、家だドイツ農活品温の際ならびに登職後は示視け七種

ルバンを終てコツクスパザーに通

ベレトワから厳り遠くないパンダ

図水アラマン方面と無限U る東部印度前面散進攻の一環とU 防傷の危機に威慄するに至ってゐ

製造を確けてある、二一に中部國第突破作戦と共に軍

にラングレーへ、コックスパザー

至つた

彼等の企圖せる基地抵進は愚か

鼠境線サキロを明る南部印度

し得るに至ったのである 要衝OOに勤する強威を一層場大

かくてパレトワ攻略版によって

へと展開し得ることくなり、ここ 部印練取局はやが絶数的主動の下

たわが網盤は引縮を行力である

ル国東線監査取に成功し一一戦に第二級陣地を突破せんとし

政曹を加へ、金を助成をしたけ

るつもりである

と總統、ム統帥會見

建設資材および地産資材の

平安道、黄海道とも鮮内で育敷

田中總監、西鮮巡視の感想を語る

首修者が陣頭に立つて認識語の 員をとつてある姿をはつきり

みた感謝してるた。

実を生産

照へられたが、

官職側の協力

日ムツンリーニ統帥と智見した「日曜上よらヒトラー総統は廿二、廿二日の下へかりと社当自慰の総元本態義上統大ヒトラー総統は廿二、廿二日の下

統に對し共和フアシスト舞政府

行うツペントロツア、勝続幕僚

減、急遽増援された第廿八師また

むが作成の前にまつ第七師吸が過

わが果敢なる猛虎の如き猛撃

を受! 【ベルリン廿四日同盟】 反福軸空 | 後方神給線を搬記して上陸作戦の

獨、補給に完璧の措置

の敵の出版は二月上司茨滕極まる

地均し爆撃無効

控へてモンドウ突破は全く投折す

軍艦局は廿四日次の通り営明した

会様工製は他の方面と参覧されて いなれるが、すでにドイツ版が が、すでにドイツ版が

は最近の機関によりド

ではこれらの経

てあるので西崎

ソリア東南方で攻撃を加へ來つ

核結

・ネツツノ個頭金においては反

したが空職で赤徳四十機、哨戒

・氣脚・脇胃

へることは出来ない、ドイツ軍はなり爆撃によって軍大な打選を加

けて徒らに出血を重ね、雨季を一無の所書歌略線酸に親し、ドイツ

トワを晒る九十キロのミヨホン前

反福軸宮軍は先遊以來特に西歐洲

機械が事情を説明じた場合に 殿が統飾との會見には個外

要回を企画したものである。しか

シルチャーチツタゴン道の要割う一るであらう

がイタリヤ全國民の唯一の代表

として三國同盟の盟郭の側にお

し表としてグラチア元帥、関係

敵撃滅の諸方策討議

門語はい、一般能量

についても祖儒の陳間を受け

ってある。今回の観察の結果、 高頭のあることを發見し、自分 府として考へわばならぬ種多の

ある。 同様のことは朝鮮の場合に て之を軍情會肚法による生産費任 およ名風間に関係する自社はすべ 部下に強かねばなられ。政府も第 三回信も場合してあるといる。 一回と第一回指定會社との間に翌 政府は第二次指定に引ついき節 の対方日正午次の公報を激派し 【ベルリン廿五日同盟】總統大本】

の知己の精神に高いて行は

がた、

の殿は總統と新師と

助とばせ!、 サ三の両日極見を ヒトラー施術とムツソリーニ統 の勝問題が討聴され、統帥は絶勝する政治上、皇帝上、經濟上 れたが、右偏談においては

問題につき衛告するが何等具體右禿員會は國際的に軍要な石油 得て國際石油委員會を組織す、米英尚國は面國聯會の派認を 語國に對し石協定への参加を勤 界石油市場頭占體削を打破せん であげめるやうだ、米勝は更 とするどめるやうだ、米勝は更 関本で配出頭で整治してみるわ 観なで、大統 ルラル組織と各種の制限構成をに対立日正年までに復襲を命じ、

これる名れない場合は適常な非常

ン來館=シカゴのモントゴメリー 【リスポン廿四日回盟】ワシント 又も罷業に最後選牒

度で銀磁を起し、すでに去る十二 問題」マシントン来郷=米國海軍 艦載機手機編しりスポ 隊可能と吹くン世間

「リスポン廿四日同盟」ワシント 米、戦艦甘隻と豪語 域に爆撃を加へ得るといっても におけるわが機動艦隊朝力はま

まつた、今や米國将軍は一千機 古の大線隊による攻略が例外で

護局の減削を反映して報道してあ 至ったが、英國新聞界が反腦軸軍

の後方連絡線に痛がな機能を加へ

ベルチザン部隊も過去一ケ年間し

痛烈の邀撃

指置を消じてある を検ばし正常工業

うに衝動をついけたが、ドイツ

策部職機における長站の細給

シュエピエ(キャクトー東北土一 面まで進出し來つた敵を三月一日 るに至ったが、一方一見下颌パレ

リツポ・アンフンが別席した

レトベンへと 雲間を打つて 訳法 る通り西欧州 におけるドイツ軍の **海面の問題現有映力につき次の通れたが、そのうちでキングは米國**

に弦ど何らの支険を來してゐない

オランダ网側ならびにフランス化 西欧洲特にドイツ西部、ペルギー

部は世界中でも一番緊迫網が稠密 な地域として知られ、他に自動車 してあるから反信
動軍が爆撃によ

し痛烈な破壁を加へ逐大次散せし

パレル道激戦と發表

における落下率

し所謂工学機能を加へたが、古四

應急の

手當はオゾで 手焊くしよう

日も午前窓づセレビヤ、ルーマニ

でイタリヤ本土から歐洲各地に對

一番観においてウーヤ上部に使入、さらに正午頃には

南部ドイツの機能を企園した、甘

强力な米航空体に爆撃機の高味が

四日の空中版についてはまだ公報

第八軍などの 指揮御宝で全くス き、全くあつてなき妖骸となつて 警主任護賞、第五軍長社等明の如 る米重側の野鼠に全く傀儡と

窓戦がよりほかな

無なないまけずの過ぎを設

やに頑張らう…… を治して男に負け 熟さで荒れた手足

った模様で、一個軍部局所の割明に 空ではルーマニヤ曲に強防空隙の は極寒されないが、ルーマニヤ上

特を得、直ちに 度に移って最終に 一酸でこの空程器 価値を行つ 米爆戦機併得が段墜され、ドイルーマニヤ上空のみで少くとも

たが、これは米 順脈圏の兵力を

といはれる、世三日の南欧の各地 生するまで機遇された 隊は國策を超えるや否や函戦闘 米空車部隊の機隊が國策線へ造 機に喰の下られ激烈落空中戦は

オ外本語 都南莊

皮隆や凍赤ひ ふ け ぎ 涡我と飾れい

結核菌に勝つ

血液の還元法 大阪常大の片瀬貫 に 常化 激元 が 行けれ、 き 一 日 一 常後 の め ば 睡眠中

おいても一機を実際され、さらに 大本徳は合計市一磯を鑑遠した話 に對する空間について廿四日源統

三日夜の英語単によるマンハイム 競表したが、西歐占領地區空襲と

をもつ免疫質の刷アルカ 輸性血液を生理的殺薬語 を還元して動核菌に**勝つ** 解も栄養も空気も日光も 事的に回復が知られ

復する。二種古八幾五國七十銭漢居にありまソ復合館やボルモンが作用しグッグン国にて胃腸が蒸活され、東戦内の弱力などを

館施し四めて機動性に含んだもの

はこの境決定した、最高の前部に

半期物動計畫 路」縣金 輕金屬第一四一個常

會役員決定 大日本育英 虚解物を確立することになった

の一層の努力が影響されてある

半期分だけがきめられた、従來の

とうるため差徴り今回は第一、四

た。小師法人大日本育英會は除版

英質役員は廿四日左の如く決定し で自然として設立された大日本時 【真京戯語】國家有鳥の人称音成

院坑労務の特殊 原情にかんがみ 別期的な
収穫が行ばれる、接節 は位にあつたが、これによう 懐かに高く坑外夫の如きは蘇ろ

る勤勞者の境中およびその定署

引機がれると共に既に決定された しその撤利罷務の一切は新法人に

半島人定着に新生

面

鑛山第二指定で勞務確保良好

〇パーセント以上定罰を目標と

アルミを観着せしめるべく目下官 鮮内芸汁の増産を回ると共で駅 方針である、原料苦計の確保は で第一四半期中に整備せしめる 金屬マグネ なみてゐるので更に全能力機都選死法は最近概ね腳關なる操業 は民設の日本マグネ金雕の直接 が、この新目標達成にこの監察者 計略は昨年の〇倍増弱と決定した おかれた模様である、本年の勝形 を抑待される、國産アルミナ部門 針に抗き業十万分の理に最近點が に到する計様は昨年とほど同じ方 は完全に適行されたが、今年度の つある、從つて十八年度において 精密自動質な計算が樹てられた紡 物的と今回の物動の相談はかなり

れる、新役員には翌年一名を均員

任同時に河原文部省國民教育局長

して永井久部省東門政府局長が就 的なくそのまく新法人に用機が 既原制も現に経済中の着も従來と

関は新山部門に宝で横大玄れたが

九州、山口の炭田を登下に持つ脳

月乃至二年の延長を自出た指が ある。本年初めの胸在では六ケ して所々苦心してあるところで

磐角批第二大指定によってその影 「副岡原語」廿五日発表された単一

炭坑の給與改善 援護事業にも補助費

会は日

大颗斯印官 吸谷墨一

西日本金製山に全面的に施行され る智祉がその担定に入り、事資上

開催する半州登納問題に就いて脳

網に於いて七十パーセントを占む 岡顕山監督局管内ではその出版数

阿文部孫尼軍 柴招信

のためには治来特に関節となって、であったが、現前が自の対抗はあるかと必要がいましてがな様子、よって派がり現立衛用を重視するのな物がに関い切った行動を様子、よって派がり現立衛用を重視する 摂は十八年度の戦略をの動いとも 茨坑質社の取締曹社指定に伴ひ労 上廻るだ大なもので、これが光速 (型京門語)本年度の石炭生素目一. 用することは影響の分れるところ であつたが、今回軍婦畜駐指定と が対しく思るためこれに使用を適 徳田炭坑は一般工場と勧募條件

である

アルミナ

1 用窓船電流の無海町戦を進め前者 は開建電工が巨下本東工場を前前 中であり、後者は日本茨泰工場工

想決を原料とする国気を構及が代

人計数を結み消めてあるほかに無

七割

ず 工

一員の力

ンを確保するために今日の朗飯は一力に戻つものが七朝であると報告

日本のホーブである能力において

ハンドサイドにおいて相構人的管一するものが今日の如答科風戦の時

利殊を貧時早くも機見して政然と するのは今日より敗へればほと十

らぬ、今や南方の決略場において

年の習となるが、日本の國難時代

代ぞれでなくてもなぼ前級将兵の されてある、之は戦場の勝敗を決

昭和電一階級銀網鮮環研企師社長

安

IE.

地、湖州及び北交からピッチの物 イブコークス製酒の場合に極力タ

ルの採取に努めさせると共に内

派型して工事の消費を促進せしめ

は態格所の土木建筑関係の技師を 見下これら新規設備工場の建設に

具備化などもいとく質現の運び

となったので飛網的場面に拍車を

行される

る等、半度概念歴工能は側期的増一かけるものと期待されてある

共に三國石炭工戦その他のビーハ クスの開盟節約前に増産を囲ると 電極の手供に関してはピツテコー ひその無権妖況を示さば次の通り

いまその地画館物館立の方配及 **早これらの増産態際の確立と**

金鯱は理研式花式伝であるが、目 な低能内アルミナ技術については

原料を使用せしめる方針で朝鮮性

と会正の技を見る独定であり朝

窓師は曹逵石灰法を採用せしめる 工は濃厚アルカリ法、朝鮮出友戦

試験中であり、朝鮮朝日輕金組

電極十九年度における

現在日紀片的进行灰法、閉維抑附

殿とついても現在東洋金師工場 り、野法の切換へに作ふ設備弾

党金の指置を時じつくある

施くが特と戦内油脂工家、明山

対無殊工程などの流体設備の低

明用にようアルミナ語の側

の設備を積極的に専用する機構

を病々消めてゐ

リットを液狀で温極せしめる

などの開聯部門との開発に軍監

総備院と納えの構造を自出したの「ベーセントを示した経験観光のをはじめ発出の地球、対抗緩緩の「整動等を保むと関づせていること」という。 昭和十七年において古へ見十八 生度確僚に一個三千二百五十三十 給原改過に然るべきものとし本 來た半島人移入も年々日の を記録したが、動戦除は別らし 一年となってあるため折角一人

群はなせどめお の同胞にとうてこの上方を言言報しての四月から毎 進展はわれらイスラム放徒三億の四月から毎 進展はわれらイスラム放徒三億 加せよ」と解明を競裂した 使よ、怒吹起して悩動の征假に参 金イスラム教徒の熱戦を代表して

イプラーヒーム家は廿五日大泉正

かく減少傾向の喰小のに成功し **欧**田七、学島人三〇パーセント 着版は昨年同期に比べ風情内地 裏おの地位を占める在日イスラム る反英抗事験的の風震を承みつく 政策は粉砕されば度國内に澎湃を度進攻とによってが印政府の欺瞞 数徒数長アプト・ツ・ラシード 成長と目印同間での経過の加容印 あると言、大アジャ主要者として

窓の河向は勢務管理の具否に係 成功した伽田は廿二である。足 解放に立つは今

印度随里市の温しさ イ教長イスラム教徒に呼びかく である。この作戦とそば即度、 ひいては全イスラム数徒の復興

第九た時はない。 既と東岸 全イスラム政徒にとつて殆習に 民族の解放の大道に通じること せんとしてゐる、この現象が印即度民衆は澎湃として之に呼風 有力な武力組織を賢現し、言だ と解放との完成を約束でるもの

に個へた所である、印度イスラ たことは昨年秋スカルノ、ハツ

題にも創助的新生頃が開かれる足に依つて更に半島旁務移入間 が必要であるとともで今回の指 郷立と自由と平和を戦の近れ、西 役立つであらう、印度イスラム教 交配を吸む無頭に耐地せしめるこ むる階層の歌詞は英國主義の印度 ペンガル及び西北町度の処地を占 デイスラム

数徒への

信威である

探い復命であると中さなければな 民が抱ふごとくなった、なに記載 の武力的、既治は勝々米英を、独せ 見っちゃ

比國で國民勤勞動員

タイの棉花増産

してある。米性は生むして関節セレベスに集中されてあるが、米銭となができたと、気が関連関節に加減して関節セレベスは全軸が対面に急減し、大きなとなった。まなは、まなは、大きなというなどとして、大きなとは、 セレベスの食糧増産 緊急機会 野人が想完してある。 配真も 朗代水田等も内地と 会ど似てをり、 子さんなければ内地の水田を見るやうな暗像を起す「夏は、水牛に は佛印、ピルマ米と異り内地米と軸らぬ味と形をもち、現地に住む一 世間ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、一般ないのでは、 たのを機質に挑印、ビルマ、タイ、 わが教務権威者が相次いで国別し 村田駐比大団など南方各地にある フィリッピン一等の政権につき一品

しめてゐる、独今や解放されんと アジャの諸君一像と協力するとを イスラム・贈屋族の常放は、意気に する印度イスラム教徒八年高が西

和上院がとは頭の目的質視のため ム解放の東現で見記け得る希望を である。九十五字の老生がイスラ われわれイスラム戦徒同胞は印度 こそ即つて往版と参加すべきと言 の版、イスラムの敵米英に樹し合

で開催的機関では廿五日それで開催的機関を開発した。

生涯を大了・イブラ ジャ建設に

アジヤ朝政に壊げ、全イスラ 際公、桂公、大陸侯等の明治 元動、頭山滅翁の諸忠士と交 **の**政治家、宗教家としての最

ム界に既然たる際間を持つて

千餘四、は付金機建高は八千四的期末に比し一千九日六十四九 で比し自除国の減少を示した

盟期の 諸決質繁を 时間決定したが よく、特に勝原は損金増加に

の着増を示す一方、有問題物在に比し、千九目除敵とそれんと 胸軍一期宋預定歧高は三個九千 「億一千九百餘萬國で前別宗

同巡常株主職的全 門決したが、今期の定款機関の各種を 分据是 楚

育」政治方針が衝火効果を現は明し、ある『治細能性國民国

てアジャの復順なし』との先 見のもとにトルコ伝図におけ 一般長は米英の四アジヤ陸略 いてある。なは両行の誘導規

開催、管摘利奈金属分ならびに取

今初の株主風路は 朝鮮貯蓄銀行で

はその人格と師見の質然の

うろであるとくもに何大統領が

自・酸出血 H H 国出

Ú m

スが現在歐州において他回し あて多いとい は関いなく安治を 錄戰血 して火たものと言いこが出来る らの地域だらは、準ゆ いところに手の用くや 機に、英雄に対面のた 解原脈社の臨時大祭を 上京してある金融か

本質に努力すると るな岩脂民の流かい調心とが切と 信まれてあるといふ▲それにつ

前に京城の機関肺靴に指で、 けても限ひ出されるのは、一ケ月 要父の旅と相談つたけ五名の山 な 光 造 個 類 製 田 前 (品製版選用)

・子宮内膜炎・白幣 手術時出

殿在場所は、恐らく切る役割を 見が除のことである。あの時の級 れが強なる状態的の打合せに終っ 國国 哪力聯盟,大日本州人留、 れ等地見たちを決する一 も温情にいる例示意のたが、そ 女強の同じ明く刻されてあると出 が映けてはあなかったか人いはゆ 打合はいてめったことも、 在郷は人物が、取削しそれぐの ちのいとは、若りの歌があり がなっ、地域、田司令官などから 保持にいの実施に添ねて、 いなかつたらか。軍人援政者 ひない▲御下側の御菓子を頂戴し 調売ちな時に極かないとり 一般の人た Š 進試 この新聞名を別和し本部へ申込めば財業として一週間分無代返還して、 なす ・手足腰冷な込み・ **恵臭、魔線、栗島、カタル** 子間繁製炎、出血、腫瘍、 技能が、政権の政権 十一期份 一四八十岁 外殿後、周劉炎、蘇 **堂進善內宮 #**本

既発行金と 局り之が配給機構を除酬すること の政権を消化すること (・) 飼料の不正移助順に不正品 (1) 関邦は開催しおける回称に (6) 飼料行政機械の擴張型化を 高級の 親野方条路せらるること (5) 飼料動取施設につき招極的 けたとうであっちにおばならぬ。 金额似乎是是是 一新藥 新藥 好評絶讃の

賣 發

中海下痢中海下痢

新

英关 電量が対象の ・ は を に で が が で の インバール

いて近く其相化すること、なつかが上した。その活用方法につな耐上した。その活用方法につなが必要薬剤助鍵として六百郡圏

者をして役員の疑びなから

・ もファーン ・ もファーン ・ 古里敬物による外人 ・ 古里敬物による外人

ー・ジーランド、ブラジル及びフ
が明かれたカナダ、深州、ニュ
はイタリヤ半島で慰園に加ふ存

持ち付かのは扱うけんと強へない ある人である

課的は勢下れ 化する大鬼部殿事の内(保だった、使って共衆の建設を兼に担合的話)総々首総)その構成の上に立つ不殿の総名職 ビルマ、皇軍作戦への協力

一個、小リレルマ欧州最高間、 の芳鴻佛郎特派大便、坪上庭タイ 経田駐ビルマ大使をはじ るが、昨年末から今春 つこれらの原因で困難化した民生 を敗る帖に向けらるべきである。 以下各地域別にその努力の使相を **人佛印** 問題是與同盟

南方各國中最も民

のはタイである

歌 米 英 佛印經済協定とよる必要物資の 各種風震物も各川原件の低下 努力を傾住してある。從然この あるが、独同として広所駆除件 ぬ態度で臨んであるので見透 悪いない

源の確立を全て 然し国國政府は

腱作物の福科類、発症物の確保 の開発(ロ)を見ばなりなって) (三)歴作物な異常の栄養(ホ) 要量を推算して、飼料用糖製料・等むること 3) 響等側線の別針輪保、 家類、大日籍、解析の場合所と側 の動物の別針輪保 て明細型の経済に増取であり、一

棚を以て之が調酬者を明梱し心く促進のため以際法人朝鮮順展者主

をり、石碗

く肝民の恍惚を指んた氣味もあつ

Ĉ,

定と地元的語に説のいれて

石建助展別と伴び新飼料で放開設

(可包物便鄉國三第

肥料・飼料の確保策

下

ると共に以動物質特別等の方法を家に對しては核査合格能を交付す

(五)終肥栽培の普及

る国子の飼料化園子の肥料化を徹

35

被地肥の縁の一井戸を開路せしむ

£

終肥栽培の普及

る大と

三ウム地域の組命は再び年的の官 の地間の触とも何すべき、

概を切割して日本ない次第である

かけた竹の鈴が唱るのびやかな耕作風味」

説何を限とし平島を繋げての御交

既せしむる時都昌民の協力強動を

(く)屋を開物、整料、電影の草

(イ) 様子を確保するため採品者

曹を採集でしめ天然株野として利

(宋)山間郡になては野草、南芽

(日)探和勢力が大のたらが人、

四、肥料に對

選挙は力めて之を家がの時料とな

りて強いすること、何地主に行り

有切者の姿影響の自動肥料増配機(イ)自動肥料機関は、品配管、

関すること

(四)官職指導援動の一颗の他化を除ることでも消傷の最大の方法を終すると、前が者の設整権の自給

弗化ブルミは現在日間、「川化蔵

弗化アルミ

の生蔵にかかつてゐ に國の生死がアルミ

日本のホープ電力

は静州の改良に俟つものだ三朝で

この決職増高の一種作繁期間を迎

朝鮮かアルミに先鞭

が酸牛死の関西に立つて航空散力

ルミを生蔵するための道程として

のである

明日の日。さうしてそのアルミの明日の日ト

一あるのに耐し推議的の機能と主意一へるに借って私が今頭の近く挑起

第一項から移吐したので削者の

3 一產增戰決屬金輕

遊ればればおが、おとそ

丁場の生産能率の増進といる選下

に可要的社の事門家を網絡して研 展成すべきである。アルミニウム

配倒的大勝利をもつて米英を職滅 あるといる結論、最後では日本が 等における終局の勝利者は日本で

明日の目トンを除却することも亦 合目の「トンは言に川を搾っても

その日暮しでは暗滅の淵に流れ

他の階級材料で一幅でも多くのア

移聴すべきであると思ふ 生れて來ることを、公方は徹底的に

展にも右頭左眄はあったが、はか 折があつたが如くアルミ工業の破める。隣來十年國の歩みに迂除助

く跳起してあるので、どうかこのは一瞬の火の王となって被進すべ

身に感じその悲痛な叫びに呼順し

て最後銀行の突角作業に全企業員

聞へて來る、我々はこの指軍を全 求は稲の餡を引くやうに削続から

関力と記しきアルミと永留石での

うに積んでくるのは 水町の機関を種かや

の原料のボーキサイ 何かといくはアルミ

トである。この事實

壁工場一社のみであるか、目下は現在保険中のものとしては日 米晶石 これとついて

機能の内地へ外米は

が、同時に概局の前途を削かに考

きを続つて生時冒民の双向にかか

数の條件を聞くてある、質にアル 例と的で朝鮮は今や内地を皮ぐ数

ってある時代の東大であることを

なる影響粉神がものをいかといふ

の繋をあげた日本役初のアルミニ

ウムは耳と朝鮮の原料から生み出

言機筋度の比例工業において物が 敗闘精神と同様、アルミ工集の如

だのは半鳥の明礬石であり、昭和 先人選が先う場所なる語心を注い

触行してある。二機でも多く、

日でも早く。と血を吐くやうな要

を向ふに廻していなどろの脱びを は関連空中はいつも十倍以上の極

九年今の昭和電工大町工場に吸々

南からの船はこの食」トントり合目の一トンといること

上場の設備構充のほかに日本館

先づ廢物の

飼料化

肥料の1月利用等各種飼料自給中 曹操剣の編帯保政(く)戦が、種 用に依る飼料作物製造(リ)有機 殿(子) 素利地名休姆利 象の利用(ト)増設など石製造の 結婚年間廿五萬曜の供給を輸保せ 先用をひと競り地吸 ・配合飼料の均原供給 來米製年度以降は食糧機給計量初 (3) 傾斜用雅麗教の供給確保 一般の野及に近すること

てビルマにかける政治は悉く第一

かつたのである▲今となっては過

一続である。従っ

てるような温かさ、吹しさがいた。つまり、合語地で温度が受け

答せる陸順のことも見られなかつ

ざるを指す、この

そ、情難の人たちにもおらぬ赤城 を投源することを、お互にけみか

す作物腸吸用す必胃酸て膜に獨

國家代表自身も例に

を扱も必要とするなりて朝鮮高麗 自無が内配合飼料として供給する 株式会社の之が吸道能力を増売せ 尚各種牧場、於國家、稱馬、取用 らるまこと 教を計上し計場的に之が確保を開 立に借り飼料用としての種類必然

三、飼料對策上特に採

飼料增産確保策

は新興」の二朝が中央教徒を表現をした「成金を交行されたきごと」

に任るかりて依然自給に細の対数、助を何ずはの職、概力励買の結局に任るかりて依然自給に細の対数、助を何ずはの職、概力励買の結局に

により関目通動として自和肥料大

然所取損及び作付反別より各城家

の目給肥料増減目標を完め能落を

地方の質問と概じ各主要作物別反 (イ) 都深別自治肥料地震で代制

無尿部、簡易『サイロー』の概

(ロ)周根曹和衛を置、李母に帰

の風先及び部落内湖稲を必行せし

め野立及で時光等地肥又は剛料の一 (人) 如在前8一手次一班,每前

類如、影物、調和如公山

地肥寅、奈宮及び灰小屋、山野株館の増加

波良を普及原則せしむること 物数無效的への解検、激突残日の て書和液物の所を除く目的を以て

しいること

株成及び影音機限の利用と遊戲は

しむると共に肥神を設備せしめ人 (イ) 脚家地所及び畜宮を改良せ

型形 きしてベッチ

からしむること

国際に限じ河流なる家畜を飼育せ

地路運動を起すこと

計に基実政府の決減な必要とする

一定時間動勢せしむる外動が透問自給肥料地震のため或る期間毎日

(口) 自治風彩地震 増高の時任を口はしむること

3 3

和呂地庫大及官木灰の東泉田操水路池沿路の泥土利用

探험助成

でごを材料しましたのであるまで、 ※初の外端、 瀬村、 皮叭に至るまで ※初の外端、 瀬村、 皮叭に至るまで

ての野童刈取を常時行はしむると、した問義院を利用せしむること

(水) 地田道路を浴がならしむる

(三)徐來の憲侯の製造は之を見 には組合を組織せしの信局と協関 (こ)特と他国近郊の藤菜栽培者 しむる後の逃避、中機設帥及び答 (ロ)都昌城院の利用を容易なら

澄元する総制製加工統領機関をる

共に飼料、敷ワラ、地肥原料とし、当り間外親爾が間を延長すると

(人)組織加工の副政物を践村に

資源を獲得せしむること

具盤開を助成すること

総約の地域を記録が取締成の大方。男子は次勝種・食締命を添勝負し、脚を戻することなく先々自着即称型であるまするを以て近の総自給((一)、長村前等(無動員)、既位とし継続終炎の名書部別に組

式之が地域に触から言る努力を喧 と手を注が言言からず、然れ の場所最も必要なるが単とこを金

先づ歴民の精神派動を限別するた

政良場面の一途に滅消せしむべく

(三) 自給肥料増産

(1) 野橋増肥、寒成堆肥、豪稈(日) 左配に付填贴指導を行ふと

(イ)性肥重顕確保の経験料とし

(六) 並行施設 網数を均崩すること

實任制雷施

(一)自給肥料大増産、本頭は含って成に臓はの気は変動 。 また、地球臓をはなってもその物質を取りは動物であれてもその物質を表現してもない。

同して開発に動する指揮映画の理

針を開明し各指導門の作用を開助

(イ)本所は自治肥熱物画の大方

助成の卵化を閉ること

(八)本には四一面を記する

は郷神場、肥和を設置せどれると

白意愛と家なれ

(八) 葉尿の利用

めどが普及被氏を切すること り、地方別に経球計集を耐立をし **その音楽をして松子能肥良** 體的方策 (七)厩堆肥増産の具

程度を厳地門の原料とせしむると

(ハ)緑肥の棚類を左の目標によ

国、部湾に対し試験法人領針地區一、北肥地市の成職機員なる派

する助成

(上) 別がサイロー」の意义に とをしわせしの生産前の三分の一 大新地と過元せしむること、特に

(ロ)自給肥料増産施設に対する

强化

化を関ること

主要が任何の完全の高いは肥料

中の影響がに負荷されたる風

三、自給肥料

自給肥増産運動を展開

中総主として気軽英、ペツテ れた変と

問題を一道に付三ケ所領委付せら

西方絵を失々地方の政情に関じ世

に対し、一般の一点の一点の一点の一点の一点の一点の一点の一点の一点の一点。一点的一点的一点的一点,一点的一点的一点,一点的一点,一点的一点,一点的一点,一点一点,一点一点,一点一点,一点一点,一点, 行せしめ、これが愉保を必拘せし

芸師何料でる弦草、程施等の料刷 ・利制器の供給職保 要する家畜に対する

明し別国の登録を何すと共に特に

となった るべき施策

这里,那是我,则是我,石灰湖。 (1) 目給制料用を運動の展開

米英用『有色外人部隊』

内間形と統領を向ける役員をつ の情気が大り米登氏の試験程に、7れもにいめて国軍とめ、理と他の一部は新とに対 赤び縛っるよ。またトンザン、 に関大してあるが、理と他の一部は新とに対 赤び縛っるようまとに対象と関係が構造 国軍の選択が接近 ののであったと知る教養の情報は めの気性が大館を見い、の情気が大力の関邦が構造 国軍の選択が接近し、の情気が大力に関する。

チャーチルも てこゝでは他地域に比し國民の負 機が強かに大であるがヒルマ欧府 はこのことをしから承知で大児師

整化よりも総ろ眼前の眼睛にあるが、第一級政治の自合は民任の

KO-1

有質能勢紛獎高 を複独にしてる自然に悲苦趣ゆるもの戦争の完全自然に悲苦趣ゆるもの おいては昨年度の一倍半を目標既除件にも拘らず今米作年度に 現形技どしい消展を見せてある二本に政治の方向を同けてある に大地産町芸を立案総行せんと れを光圧したのみならずかくる

△フイリピン 最近は< フィリビン政府営局は國民の勧

は廿五日午前十時から景城本店包 商銀縣會 四個五十餘四の淡地を示した 达一场 干四国三十四萬七千餘

ある。又かく

となる政府自身の政治力に関し

朝鮮関節銀行で



してある

関係軍人に無き独特の味を魅し、役職の組み

て問うを抗ければなられ間地がある。生態も 合年から衛民側の貨船に依て数多数の、民の

帰さんとその時また||関係機の穴

る解析の称しかったこと、こくに簡多反省し

そしてその晩の十一時の共軍で

國語の出來 た。第6曲

の町の方へ食物を含むしょう。では軽調度く物を掛けれなかった。「気がき球をつれて、下側では軽減度く物を掛けれなかった」「気物を含むしょう」では軽減度く物を掛けれなかった」「気物さまです」と言うた。

代車の中で駅切に坐席をあけてく

機関正しく、特度も確できる。

通のおかななんですらうのやうに

これだから日本は概要に無いのだ

そして求を海道に親つた、すると

の婦人は、三野単し親ってある書

に一致けっちが扱かったから知 あつたか、成板を打って船いたの

我が出入又は後年、

郷力戦略が含めかいられば、と

震影人,何大。早 近き将來に四日の名 けつくめる、もつとも えるいが、現に関係検索をう 物道の長につどかんの帆歌に燃

ので、関連し

た同組合では協力

しい返答があった

さければならは、殊に道、郡、 も込れ早々に案をたて人質行に移

それを思ふとき、佐郎谷なる二

は極密的が聞てく取行するのか、

たればなられ、それのは

れに比べて今まで単胞の女は何」これまする数で明むられてる語どが、原見から日本は開催に関い、こった、動物を観察り、観察られて、一けて言た

これは二等単に州せられて開閉

だが、阿川で見たものは何で

んですくめるやった手を成立

原語さなはいちたれた、内地

整理間に銃後は出征師短期亡の撮影旅ど、

を聞つ率仕数数の手を誇しのべねはならない を聞つ率仕数数の手を誇しのべねはならない

金が相當際に適

のだ、明然間に行いたまく生物特

別志順民一端級特謝男士の似的収材の の報は、形の様的こそが認められる 歌くとはるのである聞いて人ごとではない。

公と、途中の機関が原はれて不安

置くして民味は巻と子供をつれ 腹が一杯であつた

が尼公公

朝鮮服会の曲場さんを見て れた内地人の中年のおかみ合んが

「あなた方は何度で何しに行く

上公人物之

一日間、原著なほ変何に

が関きに先嫁されて激散を抱へて

行くと、舞沓してある酔集はサツ

と左右に打し、近一門にはま

音楽かやうじならな

や下胸のはは人で目在であしいほ

そして朝、夜が明じて間もなく

はじめて見た内地の風物が激しい も食べなかつた、だが信使さんは

戦争の最中 だといる

って欧麻をする、路校宝でが立い

の中に押込まれて、もみぐちゃに んは恐性を抱へたまく群集の難否 青龍へた風きに近なけ 相違う統制のない雑貨がで

さんが内地へ激神を取りに行つ 国、同は身を以つてそれに始らな

で、迎び、**間**びが変金 するがし方というものは、概然的 階級時頭の気める軍人を進し対

早大學之

解を進めてある。 語なっといなり、 C関数の観解OO

ればなる。きないと、優

た。見学は壁下のお役に立つた

これで早人になれたといふ

大変作業である、消候に記録 ればなられ、これは火熱を吸する 情を知らして聞や部を指導しなけ

まってないしてくれた、淡在も破

往

おが学品の時はこんだっち 無統制な情災を見て、震災さ 内地は初めていある、それも選 とをうれて出掛けた。しかし國 一生であった民長のすぐ下の男の

出るというでも、厚きん

に原際から記者を受取りに然るや

らない、それでどういふ陰間を取

ので、國語情楽る、そこで離る

回だが、背の背頂所校を出てある

文岩丘杉の父親の同僚された登

貧いがあって仕方がない。しか した、夕万下陽へ若いたが、盆目分は小さいパン一筒で発侵を

食べ物にありついたのである、個

一覧を受取りに行くのだ、と話した

はこれこれで、OCの原際まで記

まとに担じ報り、大阪で報換へた

で、食物を得るために独野で下車

しかしまた子供が観をすかしたの

うですか」と言って、知ちあがり するとそのおかみさんといるくさ

さんの細をひいて、いった

ちんと取っており、そこではじ

原院に出張して見ると、宿宿も

認められた、原像されたの田崎 って脳々と相ござをしてある姿が

世間のでがに関係されている。 敬虔な面持で「愛さん

年北島川地新任館)の遺族の許 ことの通知が阿玉格所を辿して

「脱穀物池の外に豚く交換兵長」日ー恰度その日は日曜日で、阿里一る者もない

の対党。他則動画の最近行は北た終係員のほ

とであらうか、さぎに京成護隊神社

かは恐者の数は響々たるものでおったこと、

高泉 [18] · 山山西 四接の回郷にともに極かればならぬ一 和を寄せて死た、指導の地位に立つ者

一箇つう異ひ船と親うた、船の

パンを一類工作に分けてむ。

て願って言文、どうやら言葉して一と言いた、そこで信復さんが、軍

汽車の窓から見ると、田町には百

なかつたのである、さろいる信便

目の當らに見て、感験 恒度さんは内地の、その統制も

とうなに対る、はなるいが

しまみ、喧闹さんが網に担いてき 的は、妙な所でひき預められて

ひを少しでも抱かせたら問題であ

何のために死なるのとというな

危険の

れすると

る、私が歩いた三人の民民のとこ

の姿が一人も見信らぬといふこと さんの限には、内地の縁々に巡査

色情レくばない。いや日本國民

半島の民度な変え

得たものである

さへも無かつた(四月廿四日景城

靭

鮮銀行

ろでは、安在原境理を建てる計畫

失ひ、息子の血を洗させて如質に

見倣はう内地の軍援

て、かしろ統治器々たる情様に腕

8つたのは、昨年の十二月二十一一た、独もついて行ってやらうとす

(李治山田東西) 神宮元年憲宮県 | 御裏ら約束り高原大宮昌の子明官

引機会子後一時から母受大師宮で式、突始式を露仕し御祭儀を修へ

複をかけてある機能部落である。

の魔が反響を打当

レく説師を察し、ついで第列始 の方新言御敷地の祭場に過暑、雅 れ御正殿の大御前と進み八度津の一

きのふ嚴かに執行



郷院は第六日、廿五日朝八時海州の信由を出後、

田中總監最終日程へ任成己二層經過一層地方學工學心 勞働は修錬だ。

徴用學徒に温い激勵 100工事,中外解影響所,朝鮮 メント、無別〇〇丁事を派遣し

名に編ひの質素を照へてセメント **労権化する梅州州南町女子院日産** 電が正常を見し、際 過程と向く後中間関連が出版 とつぎの如く聞つた など治國の大事な情だ、一言述 君だちの間は一個人のものでは

一行脱裂を終った

待つ勤勞奉仕

所準備は全し 扶餘神宮事務 四時廿分同歸徳引車で六日間の闘 極端級部長らの見差りなうけ午後

路上城路へ、唯井知道

を役人になった、液人時代は は合うなのから液人となり、ボ 深く感激の色を漂はせた。セメンの一個く能身別能は熱度の終父の官に 去る昭和十四年六月御起工で登手 【扶除的時】扶除神宮の御治常行

大なる生産域郷を形指る関館火火・などは病気のため解消を休んだり、フィ淮州黄を中心にして雄一時にその然へ車を寄むた

剛能に聴せ着じてあるのが聞いて

神宮式年遷宮鎭地祭

数一次いで海州戦を中心にして雄

解校長以下吸信に少ご苦めであ

地に従ってある現場へ立いり 影報開除が勢法ともに始

優秀な自転率をおけてある。 は工場を派脱中など限に入っ

立て見て九町歩の殿地を完成し の部落は昭和士一年に開大池を埋 破、延日南大和部署を前間、こ 製成その他の動物の情報では、 製成その他の動物の情報ではり 製成その他の動物の情報ではり 総々五月十五日から観め路仕が始 神宮御道は移所及で扶除といれ まることとなったので、地元扶除 の示いなると動いませで地均工事 とから年で六年、十萬七十人 は既に終く、問題明礼の木造婚祭

と陸対総然と鋭い配問を放ったの

五二)

法訓練の徹底が美しい位整然と見えない。そして交別消傷の違

で解消する(京城小野重一=五

あると迎を開けてやる。大宗な

取説務員の三人前は働いてある 見てゐて复程がよい、筋鮮の電 見てゐて复程がよい、筋鮮の電

ことが完成や頭解主要和市の

選も出來るだけの節約をして何の何趣質に耐して時間して時間して自分

X 性

い交通道徳 る題り好みをするし家庭の理解・ことが能しくなりました。「不顧をおけて歩いてゐた。」を見知したは「す、質物和をはけて歩いてゐた」をは、一般に知識などの。」となればしてまった。「他に知識などのない。」

防空壕にうかゞふ緊張ぶり でその外の生涯必需物質も同でその外の生涯必需なです。 が一日平均一様型の配給だる

せのう人自使行と別問処長を申しの将兵に申請がないと、一同申合

してこの言く問題を追いては削減

の経験が確定な関するととなった 出で再び優しい融場で酸米が配減

A AP

世七日

菓子工業組合

發展的解消

この1年間修修した技術を無駄に

(中級な) (中級な

模能を示して所定期間の一年間を

性病科 医学博士 金林皇煥

見出と言語し、伝統を終くて協

東京の人は一個に親切です、私

器古とて別期

定数であげる機会

行場で第一

は 「個別を栄、世内」 百五十郎映像 一年 日本に入事した人衆により、以体物とこれ、大学には、一日本に入事した人衆により、以体物とこれ、大学には、一年 日本に入事した人衆には、一年 日本に入事した。

のでになく買いから使って

燃料の獲得

『三内城王岐上』の親りにつき順 ・ 関節中 本面 エエ目 財育別後の様

場合とない選手工業品食っを弱立

しだが近く概代型を開催して役員

性節を行べく単純中である

を過では各所地原位のは経過合

を確保しと解析、時間が他の法的

のこのほど海世帯局に北行機構で

國防献金【始出】◆自成 本社寄託献金

●四月新那期開始 新制電氣講義

町原田神京東 **校學機電**原財

工場や家庭を守る様式

支店開設

飛行機飲納奉金 十

一、所在地 忠清帝道大田府本町一、名 稀,頗齡銀行六甲支店 開設可仕候間精々御利用被 下度此段御案內申上候 今般左記の通り弊大田支店

一、現級業務二般銀行業務並ニ國一、開設 日 昭和十九年五月1日 一丁月參拾五番地

龍顏 威涙にむせぶ遺族 まぞ拜り す

行く、午後一時間度な順級を包む

の臓を治りなずら木酸へと向って一何なる光気、帯厥を風闕に帰げ挙

つた際のうへに使用の師と同ら

御網車の極差が身近く迫つて死る

えて殊た、願々と玉砂利を見る

関明が彼方の岩線の樹間を通って 大気を捕つて柳山門を告す馴吸の

するなる、勿覧なると遺伝され

今まな至時の能能を限尺に採

み上ぐる無上の海像に唯々類を高 らすのであった

く頭を照れる地震版士の胸底には

数三年餘名が急列、同国内閣議が 原楊州即守、阿汀管察署学ほか来 から瀬戸知事、鳥山殿随部長、松

にだいて酸かに剥り行うた

戦俗は消費と消められ、原田氏 矢殊を以って明りめぐらした献 を初め関係戦員、坂口機路銀戸

茶道の

号 古**神**

(初上六五段) ド・の五年生活管理の理論な實際な意識が単独語は

響で、無限の脳に測さる歌く歌

に忠談とこしへに頼る婚姻の杜を

京畿道献穀 水田地鎮祭

電視十氏線然数を圧し、はるか のだ のだ のだ のだ

國

戦國時代の武家法制民が一種の関係を表現である。

硅漢土 劉蒙

小切手盗難公告 化柳病專門

液々と無の唇びがこみおける

在天の左駆よ、肝臓あ

かくて、陛下初領率ののも親任

英魂心應

開闢を稱み密るとそめく心を抑く一鳥 取、山口、宮崎、心院島の 第7年の 光鋭に治する祭の 遷族洛が一ある、やがて午前十時三十分編井 【東京度話】仰ぎ見る罪祭に大内」ながら御山門を御待申上げてゐだ この前班域は唯一つないまでに指 坂下門にかけて朝鮮と郊になって き消のられ沿族の座は一軍機から 十融ールベンで第八階、第五、第

に挨拶(下)頻園の英雄に

刻を際に描きながら待つ、正年少 軍大臣、つぶいて帰田海軍大臣が 三難とそれぞれ特職して統治の一 遺族席の前を温かい服差しで駆手 し前軍限と威能を正し県係頼福歴 異くも 陛下には伏し拝む 造族の 上乙間口感を通じるせ合ふけ難い たる既長な感激の涙で濡れてある 今で舞踊を吹尺の間に「野す一瞬 思名から御料車を除行させられつ である。採購する過度の限はたい

一般ルの極花散りレく九陸の社に七一に御製理あらせられた、この時刻

を担して空間里は一種に膨脹を返

いま職る民一億の必勝に燃ゆる型

抑を凝上して、吉田氏/息気の 際師官除師を配け、大和師官記

す(原山篠田勘一里五一里)

ま一前のは脚を進行する物定である

また。 ・ 説明学士次に告 ・ 説明学士次に告 ・ 説明学士次に告 ・ 説明学士次に告

教士から

回三級滑空

期間延長 増産に嬉しい

华島勞務者

成識習會

なる終りに認めた精進の

念如目

各職場に必勝の熱禱

神と観まりまず情國神北陽時大祭 生滅酸の思烈西古に輝いて範囲の

ここ期酸一途に火の玉となって著 の時期ごめて時國の忠魂に選律、

| させられた、おく、何を念滅に「鬼くる。天皇麾下には『魔の炎戦・絶する下場のベルトの駆りはこの」と意見れ事じて各自の職権に撃た「母戦を賜い、水殿へと感覚を振め」第1日の仕立日年後「時十五分」「こり報 一緒に火の手となって蘇」に見えぬとも勝めむ続いとしつか つ戦闘の遺族形といとも御線な御

ませて劉列した中島灣族選が成る倍数の島吹に舞れ、見、聞き、成じたもの、それは《子文・失 【東京にて田中時振賞後】在京五日決戦のさなかに執り行ばれた眺霞神社群の祭典に関位づ 半島遺族が見た戦ふ帝都の息吹き

めには朝鮮もかくめらればはらぬくといふ野を願かう を、兄を領國に指げた身なればこそ~より一層の反省に腕打たがつく隔阂後に戦を生活のあ り方をおうと述べて唇を噛み街に、電車に、人の心に塗族達の口をついて出る言葉、勝つた もんべのためいもんべといった されざうな近難の中で殴る

たべを新しい生物で作れる対像 とった新聞物でないことを例を

▲現務国にしてもてきはきと類切り

▲制労・奥質の時は国一つ落ちて

って若い女性が小受けてゐます。 押してゐた、曜の歌する汝礼保った。お畑さん、風な人が二人で 食量が、質物にみを超けて歩く」

の職種ではなってきるが、東で、在はるやうにして様々であられ、ヒハいて職員の来事に続ってあ、強く工者ですが、故園はいて職、古の末年代、職職の最初動員職人というというのでは、ちがはいませつと観測機は、別国・の 意図がによくと関すられて、不能関の機会がなる場合はいくというでは、また、東下版書の地合に、ちがまであられて明末のガイ、歌の戦争が、戦と着っても共しくと、選手版書の地合に、ちがまであられて明末のガイ、歌の戦争が、戦と言っても共し られるであらう北の勇士の万々、強の君です、野と言っても決し、勢間間で工場や、駆耕地が喧ら 士の方々に負けない飲きを続けています、削税的 これに比べたら朝鮮の生 か上はい私選の手に

南方戦級の男士では、

殿の別士さず、筆町が幾つも出来ました

心に感じてあるといつた風に私

摘まんで食べてあられるとか、 そでせる、草の根、木の芽を

ボルネす目指し雄々しく船出

香いと、色を通して故頭の **群を**で扱りませう、とうか精一杯に

ら、一次が現代りの権権的打 関策を勝じて施勝日本の試験を示 では言語の種類において、関する政 (成果物語) 総約不足による治財 一田に選述する頂油機能の比別を決しての機などに関係されています。 200

- FOR を立てならころ行名 の形で機能で増配と さつ、また持つて係

下のボルネないいシクベベン油

軍大報團!

女性航 路

五日本計で現れ版金万を登成した一幅最級計及が改選者四十三氏列院「存むあり木、坊、武撃由産職祭品をそつくり独行機能影響のにして「会業更物量機能記録、践行中決議」「代用職事工」初めき教者四十三をそつくり独行機能 明があつて後、映選『軍用犬の 廿三部隊軍大志から積吐犬の跳 應召の餞別『四座記 より中止した。 部主催金曜代用品展覧會入覧書の 的であり發明品の前途は益々期待 駆時下の金屬代用品の進出は常奏 | して開催 表彰芸は廿五日午後一時から京城 金屬代用品展の表彰式 最優良猶不! 國產工機株式會社の があつて同三時閉式

『枕木や麻道沿線で赤くなつて 第一級勇士に観送した を高いでゐたが、廿五階が立派に 際員一同は可愛い際問人形の作成 全厥さん言語うと際間大印無 贈る慰問人形 の買心とめて仁川宮町女子青年

るため、廿九日午後一時から月 女の网夜景を護師と修獲川西僧を では、再記都公の決意を一般々国め でて「同湾景楽仕に総行を流す 開き、それより山頂電岩神洞に割

五月一日から度像で変で計像器 五月一日から に展開した第三回米茨線波飛行機

で花だける

鍫

食事(ランチ、井勢) 一品製造材・小変響(1、管量・発育) 等日。建筑是一种,建筑工程,建筑工程。 一、细塔時間

京城職業紹介所

一、待

日本鋼管工場

府

答

精

居

出せ一億

と一面間といる師かしい既果を収 と協力によって影響類を突破する一般が運動は廿五萬盛度班員の熟職

三国妹」を五月一日とり五日間上海する

71山拉声器式!

泉城府中区本町二丁目六三

●基本品の1251番・振想京城29263番



て、大概が源えたら一寸楽してお 分位を加入て朝を議る設備で撤立 女子で、無内にある派行機工場 からありました 家庭服务公司 売し し、動画の企業司会の民業 那位, 男生使用は風控を置い が統制されます……家庭用は愛國 職を巡由して京畿道知為に申込 用も購入申込醬三通常作成し於關

要は今の他田府共の訓示後各町に 行所では廿四日中中一時から 聯絡員の常會 仁川府聯推進隊 開城所では廿三日午後一時から府

政は無無工場で使きぐと思い

國民族地について審査秘告、芸 お父さまが『間世田君に赤い紙の

同もありませんからい、Aですよ。 「同じのではなく、またないどぶの同か仕事させて下さい。」『何時も有難つこさいます。今日は、ひ見てまはると、またないどぶの同か仕事させて下さい。』『何時も どこがきたない所にないかと思

私は世に促びを解答れて、弱類

かと思って気の難になってきた、

がひないと思ふ、その時は又

元山本町公立國語風役

も一瞬ふのだつた。

高端2米、1畳配

一番 牧职 多

を名だと思ったが、大泳は玄関に

林爾は。どうも聞い、

0年 上田 晴美

牵出川

獨学

方ありません。その単人さんが、「劉氏の汽車に間に合はせらうと」んであたが、みんな湯をあけなりなない。「劉田人の記念を捌にして、足は片」「初代、甘・丁族」「電子」へいこと語言へした。汽車は指揮は「つまっ

譽の家奉仕

の選心を郵送に無へて、この運動の意義を一層深くした、以下はその操作の一部である

個々の上が浮かんで一杯であつ れて物門を出た、途中頭の中やつてくれ』と先生からにげ

が出てある『さようなら』みんな

としました。その軍人さんは大ク・うすればい人のかまつてゐると、一つと職友の方が多んな儀死を含れせの手ぬぐひを引き襲いてはた第一になうた。私は超つてしまつてと一つていかにも概念さらぎつた。各

完年一組 完工學七公文別丟凝複

海への書

安一きうと思ってね

記集を記

末 育家文は、四家 当年記

心蓄助

だ費戦

ものだから、とこかで肉でも座は

鄭玄雄(繪) 李無影作

良

けな奉仕に喜び

童心がものした珠玉の數々

「山下君のお父さんばんざい」

見ばい、何んでも林さんとが言っ

人生の裏道はかりを通ってある と、第大派も歩きながらいった

る寛家語

冒険にですかり、朝子はソプラノで叫んだ。

だね。同じ街に住んであて、不思

てらっしゃいましたわら

べる。一回配置にない。だが、

たとずついた。一尺もあらうかと とどずついた。一尺もあらうかと

朝貯朝面殖朝群

明鮮無盡會社群山支店明維銀行群山支店明典銀行群山支店所與銀行群山支店

が相断だった。が、さつ名振ら

としたとこうだった。

で、おと、その方はでいねいにおじざを で、おと、その方はでいるいにおじざを で、おと、その方はでいるいにおじざを

後さんの家へ着いた、門を入

年後一時十五分を刺し、一個國民の職時大祭の國民行事として廿五日

然の園民行家として廿五日一をいとも膨かに載り行うた思珠神観まる嫡頤剛社憲学一前に烏殿された祭殿の前で憲宗式

廿五日護國神社で遙拜式を嚴修

要する統令で差別諸母は認識の要する統令で差別諸母なのも正思を振しく。
変上したのも正思を振しく。
変とした。のも正思を振しく。
変とした。のも正思を振しく。
変となる。

元

を願じ替って同一時十七分、式

淨域に捧ぐ

しく所在の位置で遙輝を行つた

版る軍犬に對する一般の認識を深一室でク軍用犬の夕々を開いた

廿五日。軍用犬の夕。で多彩な催し

特殊性と重査を解明

年隊の軍援

來をまへよ。ね、待つてるから、

うに極えてゐた。しかも、この答。 る。それを敬と毎年等

なあんだ。単さんなら一緒に

で、質は弟と外食をすることにし

約束だつたんだ。あまり点はさい 大永は戸窓ひしながら、

京城府中區長谷川町二二は後週す **屬府營 公會堂食堂** 分を御求め願ひます 出願ひます 関府公司堂食堂の 經營を左記に依り 著又は身分證明書等を御示しの上食事は旅行者に限りますから… 旅行證 2五日より開始致しましたから 御利 愛知際養養市西八町九十二、森下みや子





























防火用凝塊式砂散彈的

製造賣實施權讓渡(聚至急)

はや、新療法













職語平局●□≒で・八天七・八天八・八天九京城府中區黄金町ニノー九九



興證券京城支店





· 畫治療研究所 院長林裕盛 院長林裕盛 第1769



%和工品月 日 一、赴任月日 至

一、 经衡旅費 一、提出書類

總進軍へ億貯蓄攻略に

生記を瞭美別が所知(金倉副日宮) ・ 生記を瞭美別が所知(金倉副日宮) 歴書出頭のため楽したる旅数及宿泊蔵を受

100

日本窒素本宮工場上作、化聚素温素部勝係温密円

八求人者。咸南與南昌。 茅夫特技能與見為日工夢集